

プロジェクト課題活動実績

課題名: 玖北地域における持続可能な営農体制の構築

〈活動事例の要旨〉

玖北地域の多様な担い手を確保し、農地維持可能な体制を構築する。本年度は人・農地プランの実践計画の作成支援、担い手の経営モデルの作成、新規就農者の受入体制の構築、既存集落営農法人の経営改善支援等を行った。

1 普及活動の課題・目標

(1) 課題

- 人・農地プラン実践計画の作成支援
- 実践計画に基づく担い手育成確保
- 既存集落営農法人の運営支援

(2) 目標（平成 28 年度）

- 多様な担い手（人・農地プランの中心経営体）の経営面積 240 ha
- 集落営農法人連携組織 1 組織

2 活動の内容

- (1) 8 地区を重点集落に設定し、人・農地プランの実践計画の作成に向け、地区説明を行った。
- (2) 玖北地域で推進する営農類型を検討するとともに、就農促進会議に参加し、新規就農者の状況把握、技術指導を行った。また人・農地プランの中心経営体、水田フル活用ビジョンの担い手リスト掲載農家で認定農業者となっていない者に、農業経営改善計画の作成説明会を開催した。
- (3) 法人の理事会等に出席し、後継者対策や経営安定に向けての課題等の把握を行い、法人ごとに対策の提示等を行った。またタマネギ、キャベツ等の実証ほの設置、栽培指導を行った。

3 活動の成果

- (1) 人・農地プランの実践計画の作成に向けて支援した。
- (2) 岩国市基本構想の営農類型を決定するとともに、新規就農支援マニュアルを作成した。新たに認定農業者への申請者が 2 名あった。
- (3) 既存法人において、タマネギ、キャベツの作付面積が増加するなど経営複合化の定着が促進した。

- 多様な担い手の経営面積 184ha、集落営農法人連携組織は平成 27 年度設立予定

4 今後の普及活動に向けて

重点集落に対しては引き続き、人・農地プランの実践計画の作成支援を行う。実践計画に基づく担い手確保を具体的に進めるに当たっては、地域振興施策の活用も含め検討する必要がある。また既存集落営農法人の経営改善に向けて営農計画等の作成支援を行い、経営の安定化を図る。



認定農業者の申請意向者への地区説明会
(H26. 7. 30 美和公民館)



既存法人でのキャベツの品種試験
(H26. 11. 7 錦町向峠)